

# 桜蔭会便り

発行 一般社団法人桜蔭会

## 祝 内田伸子先生 山口仲美先生が 文化功労者に選出されました。



### 内田伸子先生（昭43体）

お茶の水女子大学名誉教授 学術博士 前桜蔭会会長

子どもの発達段階に着目し、人間の豊かで複雑な心理的な活動がどう育つのかという新たな研究領域を開拓した。教育番組などの作成・監修、児童虐待など逆境にある子どもの支援や対応につながる研究の普及にも貢献した。

（2021年10月27日朝日新聞より）

内田先生が講演会でお話される、子育てに「もう遅い」はありませんという言葉に助けられた会員もたくさんいます。また先生はこどもちゃれんじでおなじみの「しまじろう」の生みの親でもあります。

桜蔭会会長の時は桜蔭会館から同窓会コモンズへの移転という大きな出来事がありましたが、この大波の中を内田会長という頼もしい帆に支えられて乗り切れたと感謝しています。

これからも益々のご活躍とご健勝をお祈り申し上げます。



### 山口仲美先生（昭42国）

埼玉大学名誉教授 文学博士

日本語学で、平安文学を対象に文体や語彙の特質を分析。擬音語や擬態語の推移も明らかにした。学術用語やあだ名、若者言葉にも注目し、斬新な視点で研究を進めた。『日本語の歴史』で2007年日本エッセイスト・クラブ賞を受賞。

（2021年10月27日朝日新聞より）

東京大学大学院修士課程修了

2008年日本語学研究で紫綬褒章を受章、古典に潜む日本人の生きるうえでの知恵をわかりやすく語り多くのファンがいます。

古典の文体やコミュニケーション、オノマトペの歴史、若者言葉、あだ名・薬の名前の付け方など、いままでの日本語学ではほとんど研究されていない分野、テーマに取り組んでこられました。大腸がんやすい臓がんを経験した時にも『今昔物語』に描かれていた人々から元気ももらっていたと書かれています。その経験をもとに『大学教授がガンになってわかったこと』を出版して、同じような病気に苦しむ人たちに勇気付けてきました。これからも益々のご活躍とご健勝をお祈り申し上げます。